

23:1 こうがんのつぶれた者、陰茎を切り取られた者は、主の集会に加わってはならない。  
23:2 不倫の子は主の集会に加わってはならない。その十代目の子孫さえ、主の集会に加わることはできない。

23:3 アモン人とモアブ人は主の集会に加わってはならない。その十代目の子孫さえ、決して、主の集会に、はいることはできない。

23:4 これは、あなたがたがエジプトから出て来た道中で、彼らがパンと水とをもってあなたがたを迎えず、あなたをのろうために、アラム・ナハライムのペトルからベオルの子バラムを雇ったからである。

23:5 しかし、あなたの神、主はバラムに耳を貸そとはせず、かえってあなたの神、主は、あなたのために、のろいを祝福に変えられた。あなたの神、主は、あなたを愛しておられるからである。

23:6 あなたは一生、彼らのために決して平安も、しあわせも求めてはならない。

23:7 エドム人を忌みきらってはならない。あなたの親類だからである。エジプト人を忌みきらってはならない。あなたはその国で、在留異国人であったからである。

23:8 彼らに生まれた子どもたちは、三代目には、主の集会にはいることができる。

23:9 あなたが敵に対して出陣しているときには、すべての汚れたことから身を守らなければならぬ。

23:10 もし、あなたのうちに、夜、精を漏らして、身を汚した者があれば、その者は陣営の外に出なければならない。陣営の中にはいって来てはならない。



23:11 夕暮れ近くになったら、水を浴び、日没後、陣営の中に戻ることができる。

23:12 また、陣営の外に一つの場所を設け、そこへ出て行って用をたすようにしなければならない。

23:13 武器とともに小さなくわを持ち、外でかがむときは、それで穴を掘り、用をたしてから、排泄物をおおわなければならぬ。

23:14 あなたの神、主が、あなたを救い出し、敵をあなたに渡すために、あなたの陣営の中を歩まれるからである。あなたの陣営はきよい。主が、あなたの中で、醜いものを見て、あなたから離れ去ることのないようになければならない。

神の完全さときよさが集会においても表される必要がありました。律法というような規定でそれをするとなると、線引きが必要で、個々の人々にとっては不条理なことも出てきます。「陰茎を切り取られた者」であるエチオピアの宦官は救いに与りましたし、「不倫の子」とはまさにイエス様に投げかけられた言葉です。神様の愛には変わらないことを確信しつつ、神様の完全ときよさを表すのは私たちの信仰の歩みであることを覚えましょう。

「出陣」している陣営の規定が述べられています。大切なことはイスラエルの出陣は、主の戦いであるということです。そこには主がおられなければなりませんし、主にふさわしいところでなければなりません。

「精を漏らす」という行為は快樂につながるものですから、心理的にも正しく処理する必要があります。また「排泄物」は衛生に関わりますから、しっかりと処理しなくてはなりません。

私たちもこの世にあっては、自分自身の毎日が「出陣」している「陣営」ですから、「主が、あなたを救い出し、あなたの陣営の中を歩まれる」

ことを忘れないで、主にふさわしい生活を整えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

